令和３年度第３回
静岡地域医療構想調整会議

日　時：令和４年３月９日(水)19時15分から
場　所：Web会議

次　　第

○ 議　題

１　清水富士山病院の病床再開について

○ 報　告

１　第８次静岡県保健医療計画の中間見直しについて

２　地域医療介護総合確保基金について

３　徳州会病院の機能転換について

○ その他

資料目次

資料１　清水富士山病院の病床再開について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
資料２　第８次保健医療計画（2018年度～2023年度）中間見直しの概要 ・・・・・・・３
資料３　令和４年度地域医療介護総合確保基金（医療分）事業・・・・・・・・・・・・５
　　令和４年度　地域医療介護総合確保基金（医療分）事業提案の反映・・・・・７
資料４　徳州会病院の機能転換について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

資料１

静岡圏域における病床再開について

１、　概　要

● 診療科目　　内科、リハビリテーション科

● 病床数　　１２０床（療養１００床　/　一般　２０床）

現在の稼働状況　　療養　１００床　病床稼働率　平均９６％

● 休棟中の２０床再開について

届出している内容
- 病棟名・・・　一般病棟　、　病床種別・・・　一般
- 入院基本料・・・一般病棟特別入院基本料

稼働していなかった理由

医療従事者の確保に苦慮していた

休棟中の２０床を定量的基準「静岡方式」から機能区分の流れ、特定入院料からの区分および２０２５年に向け不足する医療機関を参考に療養病棟の病棟単位で行う、回復期リハビリテーション病棟として再開したく申し出致します。

2．事前協議申出概要

申出者	医療法人社団　八千代会　（理事長 栗林徹至）
病院の名称	清水富士山病院
開設の場所	〒424-0946 静岡県静岡市清水区八千代町6番33号
開設（移転）趣旨	病床再開
病床種別	一般　20 床
診療科目	内科、リハビリテーション科
管理者	森　徹
建物	鉄骨造 延床面積
開設予定年月日	（再開予定）　2022 年 4 月 1 日

第８次静岡県保健医療計画（2018 年度～2023 年度）中間見直しの概要

資料２

計画の趣旨

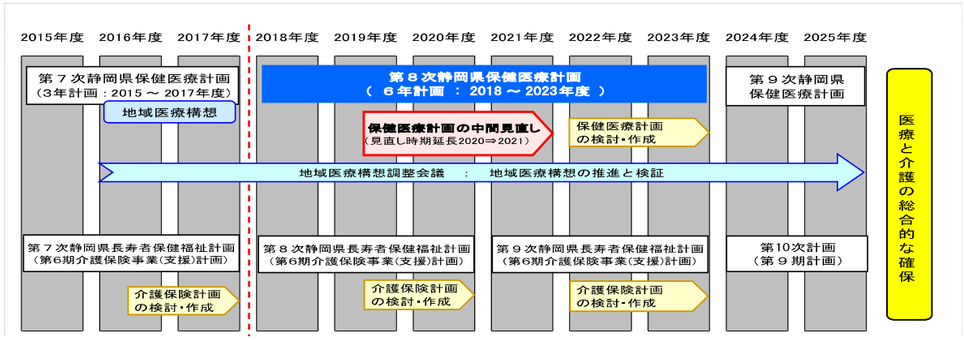
・「効率的で質の高い医療提供体制の構築」と「地域包括ケアシステムの構築」が一体的に行われるよう、医療・介護の連携を強化し、急性期から在宅まで切れ目ない医療を提供

基本理念

◎県民が、いつでも、どこでも、安心して必要な保健医療サービスが受けられる体制の確保、向上

計画期間

・2018～2023 年度の６年間。中間年に見直しを行い、医療計画と介護保険事業(支援)計画の整合性を保つ。
・2025 年度に目指す医療提供体制の姿を示した「静岡県地域医療構想」を踏まえて推進



２次保健医療圏

・賀茂、熱海伊東、駿東田方、富士、静岡、志太榛原、中東遠、西部の８医療圏を設定
・医療機関の機能連携に基づく医療サービスと広域的、専門的な保健サービスとの連携等により、県民に包括的な保健医療サービスを提供

医療圏	構成市町名
賀　茂	下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町
熱海伊東	熱海市、伊東市
駿東田方	沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町
富　士	富士宮市、富士市
静　岡	静岡市
志太榛原	島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町
中 東 遠	磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、森町
西　部	浜松市、湖西市

基準病床数

・病床の適正配置の促進と適切な入院医療の確保を目的に、病床整備の基準として病床の種類ごと設定

○一般病床・療養病床

医療圏	基準病床数
賀　茂	520
熱海伊東	826
駿東田方	5,473
富　士	2,223
静　岡	5,566
志太榛原	2,892
中 東 遠	2,643
西　部	6,577
計	26,720

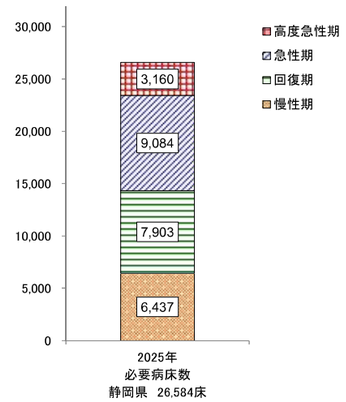
○精神病床・結核病床・感染症病床

病床の種別	基準病床数
精神病床	5,388
結核病床	82
感染症病床	48

地域医療構想

・構想区域ごとに、各医療機能の将来の必要量を含め、その地域にふさわしいバランスの取れた医療機能の分化と連携を適切に推進

【2025 年の必要病床数】

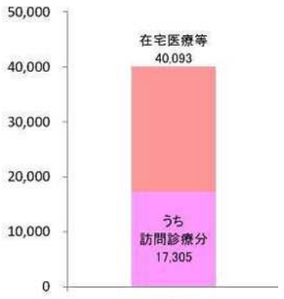


・医療提供体制の確保に当たって、急性期、回復期、慢性期の各機能は構想区域内で確保
・高度急性期機能は、構想区域を超えた広域で対応

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
賀　茂	20	186	271	182	659
熱海伊東	84	365	384	235	1,068
駿東田方	609	1,588	1,572	1,160	4,929
富　士	208	867	859	676	2,610
静　岡	773	1,760	1,370	1,299	5,202
志太榛原	321	1,133	1,054	738	3,246
中 東 遠	256	1,081	821	698	2,856
西　部	889	2,104	1,572	1,449	6,014
静岡県	3,160	9,084	7,903	6,437	26,584
	11.9%	34.2%	29.7%	24.2%	100%

【2025 年の在宅医療等の必要量】

・2025 年に向け、在宅医療等の需要は「高齢化の進行」や、病床の機能分化連携を踏まえた「追加的需要」により大きく増加する見込み
・医療・介護需要の増大に確実に対応していくため、県・市町、関係団体が一体となってサービス提供体制を構築



	在宅医療等	うち訪問診療分
賀　茂	1,024	428
熱海伊東	1,643	735
駿東田方	7,186	3,271
富　士	3,723	1,612
静　岡	8,082	3,845
志太榛原	4,585	1,832
中 東 遠	4,198	1,420
西　部	9,652	4,162
静岡県	40,093	17,305

【地域医療構想の推進体制】

○地域医療構想調整会議の活用（関係機関の自主的な取組と対応策の検討）
○病床機能報告制度の活用（地域全体の状況把握と情報提供）
○地域医療介護総合確保基金の活用（必要な施策の推進）

○主な見直し事項は次ページに記載しています。

※２次保健医療圏、基準病床数及び地域医療構想については、次期計画策定時に見直しを検討する予定

富国有徳の理想郷－しずおか
ふじのくに
Shizuoka Prefecture

主な見直し事項

６疾病

【がん】
- 質の高い医療提供、小児・AYA 世代のがん患者への全人的な医療・支援体制、がんゲノム医療を受けられる体制の構築等を目的に厚生労働省が創設した、「地域がん診療連携拠点病院（高度型）」、「小児がん拠点病院」、「がんゲノム医療中核拠点病院」の県内指定状況を追加
- 「県がん対策推進計画中間評価」に基づく、「がん検診受診率」や「研修会実施」など新型コロナウイルス感染症による影響への対応を追加

【脳卒中】
- 新たに策定した「県循環器病対策推進計画」に基づき、危険因子である「脂質異常症」への対策の強化や「医療連携体制の構築」に取り組み、健康寿命の延伸を図る観点から、数値目標等を追加

【心筋梗塞等の心血管疾患】
- 新たに策定した「県循環器病対策推進計画」に基づき、危険因子である「脂質異常症」への対策の強化や「小児・先天性心疾患児」への診療成績向上等を踏まえ「移行期医療を含む医療連携体制の構築」に取り組み、健康寿命の延伸を図る観点から、数値目標等を追加

【糖尿病】
- 糖尿病診療ガイドライン改訂などの知見に基づき、患者への負担の少ない最新の血糖測定機器や経口治療薬の活用、新たに策定した「県循環器病対策推進計画」に基づく専門治療や重篤な慢性合併症治療の推進を追加

【肝炎】
- 肝硬変や肝がんといったより重篤な病態への移行者を減らすため、第３期静岡県肝炎対策推進計画で目標に掲げている「肝がんり患率（人口 10 万人当たり）」を数値目標に追加

【精神疾患】
- 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築について評価するため、「精神病床から退院後１年以内の地域における平均生活日数」を数値目標に追加
- ギャンブル等依存症対策推進計画の策定に伴い、ギャンブル等依存症に対応できる医療機関、関係機関の連携強化を追加

５事業

【救急医療】
- 数値目標の「心肺機能停止患者の１か月後の生存率」及び「心肺機能停止患者の１か月後の社会復帰率」の目標値について、値を最新値に更新した上で、引き続き全国平均値を目標として設定

【災害医療】
- 熱海市伊豆山地区で発生した土石流災害への対応を踏まえ、災害急性期以降、医療チームの活動が、他のチームへスムーズに移行されるよう連携体制強化を追記
- 災害拠点精神科病院を指定したことに伴い、災害精神医療における災害拠点精神科病院の役割等を追記

【へき地の医療】
- 良質かつ適切なへき地医療を提供する体制を構築するため、『「巡回診療年間実績 12 回以上」「医師派遣年間実績 12 回以上」「代診医派遣年間実績１回以上」のいずれかを実施したへき地医療拠点病院の割合』へ数値目標を見直し

【周産期医療】
- 持続可能な周産期医療提供体制の構築に向けた検討に関する文言を追加
- 災害対策強化（業務継続計画策定、非常時の電源及び水の確保、災害時小児周産期リエゾンの任命）に関する説明を追加

【小児医療】
- 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の施行を受けた見直し

感染症対策

【新型コロナウイルス感染症対策】
- 救急医療や通常医療のひっ迫状況を踏まえ、感染状況に応じ病床を確保
- 限られたコロナ患者専用病床を効率的に運用するための後方支援病院の病床確保
- 自宅療養者の健康観察及び体調悪化時の受診体制整備
- 保健所への応援職員派遣の体制構築
- 医療機関における検査体制整備の促進
- 新型コロナウイルス感染症の影響により生じた様々な健康課題への取組

【新興・再興感染症対策】
- 感染症に関する研修、検査、情報収集、疫学解析、情報発信、相談業務等、県内の感染症対策拠点となる（仮称）ふじのくに感染症管理センターの設置
- 感染症対策に関する常設の専門家会議の設置
- パンデミックを想定した医療機関のネットワーク構築と病床確保のあり方の検討
- 感染管理の専門性を有する医師・看護師や重症患者に対応可能な人材などの専門人材の育成
- 社会福祉施設等におけるクラスターの発生を防止するため、従事する職員の感染対策の知識や技術向上
- 医療機関や福祉施設等における感染防護具等の備蓄の促進

【その他の感染症対策】
- 「薬剤耐性」の問題が増加していることを受け、抗菌薬の適正使用に関する正しい知識を普及啓発

在宅医療等

【在宅医療】
- 現行計画策定後の状況変化等により新たに発生した課題に対応するため、本県での新たな取組等の追加

【認知症対策】
- 令和元年６月に国が示した「認知症施策推進大綱」により新たに実施することとなった取組等の追加

【地域リハビリテーション】
- 現行計画で疾患ごとに記載されているリハビリテーションについて、新たに「地域リハビリテーション」の節を追加

医療従事者の確保等

【医師の確保】
- 「新専門医制度」の状況、医師の働き方改革、医師少数区域及び多数区域の設定、医師少数スポット及び目標医師数の５項目について、新たに位置付け
- 「人口 10 万人当たりの医師数（医療施設従事医師数）」に加え、「県内医療施設従事医師数」を数値目標に設定
- 医師少数区域（医師偏在指標下位 1/3）を脱するために必要となる指標を数値目標に追加

【看護職員の確保（保健師・助産師・看護師・准看護師）】
- 「人口 10 万人当たり看護職員数」から、実数である「看護職員数」に数値目標を変更
- 「看護師等の離職時届出人数」から、「再就業準備講習会参加者数」に数値目標を変更
- 新興感染症等に対応する質の高い看護師の確保を目指すため、「認定看護師数」を数値目標に追加
- 「特定行為指定研修機関又は協力施設数」から、「特定行為研修終了者の就業者数」に数値目標を変更
- 保健師について、感染症対応における業務の集中等の課題とその対策を追加

【ふじのくに医療勤務環境改善支援センター】
- 労働基準法改正による時間外労働の上限規制への対応、2024 年４月から始まる医師の時間外労働の上限規制への対応等の現状、課題とその対策を追加

令和４年度地域医療介護総合確保基金（医療分）事業

１　令和４年度基金事業予算（案）

（単位：千円）

区　分	R3 当初予算Ａ	R4 当初予算(案)Ｂ	Ｂ－Ａ
①　地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備	739,967	892,567	152,600
①－２　病床機能再編支援	46,000	147,000	101,000
②　居宅等における医療の提供	434,890	348,884	▲86,006
④　医療従事者の確保	1,443,122	1,687,512	244,390
⑥　勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備	323,000	219,744	▲103,256
計	2,986,979	3,295,707	308,728

※令和４年度当初予算(案)は、現在、県議会２月定例会に提出中

２　令和４年度基金事業提案（医療分）の反映状況

○関係団体から 19 件の提案があり、提案趣旨を踏まえ 17 件の内容を事業に反映予定
（新規・拡充・継続事業実施等に加え、予算措置を伴わない事業実施段階での反映予定等も含む）

区分	提案件数	反映件数	備　考（反映内容）
Ⅰ：地域医療構想の達成	6	5	
(1)医療提供体制の改革等	5	5	①新規:1、⑤継続:3、⑥実施段階反映:1
(2)その他「病床の機能分化・連携」等	1	0	
Ⅱ：在宅医療の推進	9	9	
(1)在宅医療を支える体制整備等	7	7	②拡充:1、⑤継続:6
(2)在宅医療（歯科）の推進等	1	1	⑥実施段階反映:1
(3)在宅医療（薬剤）の推進等	1	1	⑤継続:1
Ⅳ：医療従事者の確保・養成	4	3	
(1)医師の地域偏在対策等	2	2	②拡充:1、⑤継続:1
(2)診療科の偏在対策等	0	0	
(3)女性医療従事者支援等	0	0	
(4)看護職員等の確保等	0	0	
(5)医療従事者の勤務環境改善等	1	1	⑤継続:1
(6)その他「医療従事者等の確保・養成」等	1	0	
合計	19	17	

提案反映状況			
①新規事業化	1	④事業形態の変更	0
②継続事業の拡充実施	2	⑤継続事業実施	12
③継続事業へのメニュー追加	0	⑥継続事業実施段階での内容反映を検討	2
反映件数　計			17

3　事業提案を反映した主な事業

○訪問看護出向研修支援事業　【区分：Ⅱ(1)】

提案	提案団体	県看護協会		
	提案内容	・入院から円滑な在宅復帰のため、病院勤務看護師の訪問看護ステーションへの出向研修に対する助成継続 ・さらに参加病院の枠を広げ、病院と地域の医療連携体制を強化		
事業反映	反映内容	**【継続事業の拡充実施】** ・回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟を有する病院等に加え、急性期病院も対象とする拡充		
	所管課	健康増進課(地域包括ケア推進室班)	予算額（基金）	18,000 千円

○静岡県ドクターバンク運営事業費　【区分：Ⅳ(1)】

提案	提案団体	静岡県医師会		
	提案内容	・医師確保に向けたサポートを目的として運用を開始した「静岡県医師バンク」の運営、機能・広報の拡充		
事業反映	反映内容	**【継続事業の拡充実施】** ・キャリア・復職支援を行う県内病院を紹介する動画等の作成、掲載によるキャリア支援情報ページの充実 ・医師バンクの利用促進につながるリーフレットの作成		
	所管課	地域医療課（医師確保班）	予算額（基金）	12,957 千円

○医療機能再編支援事業（病院ＩＣＴ連携推進検討事業）【区分：Ⅰ(1)】

提案	提案団体	静岡県病院協会		
	提案内容	・今後地域で産科や小児科などの集約化が進んだ場合に備え、ＩＣＴを活用した医療連携の在り方を検討する		
事業反映	反映内容	**【新規事業化】** ・ＩＣＴを活用した医療連携導入の実態及び利用に関する課題及び県内外の先進的取組事例の調査 ・協議会を設置し、調査結果を基に県内での導入に関する検討を実施 ・調査結果や先進事例についての研修会を開催		
	所管課	医療政策課（医療企画班）	予算額（基金）	6,800 千円

令和4年度　地域医療介護総合確保基金(医療分)　事業提案及び反映状況

※区分Ⅰ:病床機能分化・連携推進、Ⅱ:在宅医療推進、Ⅳ:医療従事者等確保　　(単位:千円)

No.	区分	提案団体	提案項目	提案事業内容	事業提案反映状況	事業提案反映状況	基金事業名	R4計画 (基金充当額)	担当課
1	Ⅱ (3)	県薬剤師会	研修会開催等	地域包括ケアシステム構築のため、地域連携薬局の推進による多職種との連携強化や、在宅医療を担う薬剤師を養成	⑤継続事業実施	(従来事業の継続要望)	かかりつけ薬剤師・薬局普及促進事業	9,000	○薬事課 (薬事企画班)
2	Ⅰ (1)	病院機構	設備助成	地域における医療連携を進めるため、病病/病診間の医療情報の共有を行っている「ふじのくにねっと」の機器整備に要する費用への助成継続	⑤継続事業実施	(従来事業の継続要望)	地域医療連携推進事業費助成	57,000	○医療政策課 (医療企画班)
3	Ⅰ (1)	県歯科医師会	研修会 協議会	入院患者への早期の歯科的介入や術前からの口腔管理実施に向けて、歯科設置がない地域医療支援病院における、病院と歯科医師会との医科歯科連携体制構築の継続	⑤継続事業実施	(従来事業の継続要望)	地域口腔管理推進整備事業	7,600	○健康増進課 (健康増進班)
4	Ⅱ (2)	県歯科医師会	研修会 協議会	循環器病対策推進に係る研修会等を開催し、重症化予防および医科歯科連携体制の強化を図り、健康寿命の延伸に繋げる。	⑥継続事業の実施段階での内容反映を検討	(既存事業の研修会のテーマとして取り扱うことを検討)	全身疾患療養支援研修事業	1,500	○健康増進課 (健康増進班)
5	Ⅱ (1)	県看護協会	補助	円滑な在宅復帰のため、病院勤務看護師の訪問看護ステーションへの出向研修に対する助成継続。さらに参加病院の枠を広げ、病院と地域の医療連携体制を強化。	②継続事業の拡充実施	事業対象の病院を拡大	訪問看護出向研修支援事業	18,000	○健康増進課 (地域包括ケア推進班)
6	Ⅰ (1)	浜松医科大学	補助	病床の共同運用等を含む弾力的な病床運用の検討、弾力的な病床運用等を通じて病床の機能分化・連携を推進(地域医療連携推進法人の設立への支援)	⑤継続事業実施	(従来事業の継続要望)	地域医療機能分化等推進事業費助成	85,068	○医療政策課 (医療企画班)
7	Ⅰ (1)	浜松医科大学	補助	人工知能(AI)を内視鏡施行医の診断補助に利用する新たな内視鏡システムを県全域で活用できる体制を構築	⑥継続事業の実施段階での内容反映を検討	がん医療均てん化推進事業費助成事業の中で、低侵襲医療の設備整備としての実施を検討。	がん医療均てん化推進事業費助成	27,200	○疾病対策課 (がん対策班)
8	Ⅳ (1)	県医師会	研修会	若手医師確保のため、臨床研修医が一堂に会する「Welcome Seminar」や、キャリアパス支援事業「屋根瓦塾 in Shizuoka」等の開催	⑤継続事業実施	(従来事業の継続要望)	臨床研修医定着促進事業費	7,678	○地域医療課 (医師確保班)
9	Ⅳ (1)	県医師会	システム運営、調査、情報発信	医師確保に向けたサポートを目的として運用を開始した「静岡県医師バンク」の運営、機能・広報の拡充	②継続事業の拡充実施	キャリア・復職支援を行う県内病院の紹介動画等の作成、掲載等を行い、医師バンクHP等の魅力や広報機能を強化	静岡県ドクターバンク運営事業費	12,957	○地域医療課 (医師確保班)
10	Ⅳ (5)	県医師会	研修会	医師の働き方改革を推進するための医療クラークの教育体制整備に向けた研修会、女性医師就労支援に向けた講演会等の開催	⑤継続事業実施	(従来事業の継続要望)	○医師・看護師事務作業補助者教育体制整備事業費 ○女性医師就労支援事業費	4,920	○地域医療課 (医師確保班)
11	Ⅱ (1)	県医師会	研修会 普及啓発	かかりつけ医の機能強化のため、医師・医療機関向け研修会等の開催、かかりつけ医の普及に向けた県民向けセミナーの開催	⑤継続事業実施	(従来事業の継続要望)	医療・介護一体改革総合啓発事業	6,800	○医療政策課 (医療企画班)
12	Ⅱ (1)	県医師会	拠点運営	地域包括ケアシステムの整備に向け、在宅医療・介護連携のためのネットワーク形成の拠点となる「シズケアサポートセンター」の運営継続	⑤継続事業実施	(従来事業の継続要望)	在宅医療・介護連携推進事業費	30,000	○健康増進課 (地域包括ケア推進班)
13	Ⅱ (1)	県医師会	助成	『地域包括ケア対応型』へとモデルチェンジした「シズケア＊かけはし」の一層の活用拡大に向け、地域の普及拠点づくりのほか、職種やサービス種別に応じた新たな活用方法を検討	⑤継続事業実施	(従来事業の継続要望)	地域包括ケア情報システム連携拠点推進事業	15,300	○健康増進課 (地域包括ケア推進班)

令和4年度　地域医療介護総合確保基金(医療分)　事業提案及び反映状況

※区分Ⅰ:病床機能分化・連携推進、Ⅱ:在宅医療推進、Ⅳ:医療従事者等確保　　(単位:千円)

No.	区分	提案団体	提案項目	提案事業内容	事業提案反映状況	事業提案反映状況	基金事業名	R4計画 (基金充当額)	担当課
14	Ⅱ (1)	県医師会	研修会	地域での体制づくりの核となる認知症サポート医リーダーを養成する研修会や、養成したリーダーが情報共有・意見交換を行う連絡会の開催	⑤継続事業実施	(従来事業の継続要望)	認知症関係人材資質向上等事業 (介護メニュー)	(1,220)	○健康増進課 (地域包括ケア推進班)
15	Ⅱ (1)	県医師会	研修会	かかりつけ医を対象とした地域ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ基礎研修の実施や、かかりつけ医への支援、市町・地域包括支援センターとの連携づくりの協力を行う「サポート医」の養成	⑤継続事業実施	(従来事業の継続要望)	地域リハビリテーション強化推進事業	1,714	○健康増進課 (地域包括ケア推進班)
16	Ⅱ (1)	県医師会	助成	かかりつけ医等が、健診や日常の受診機会を捉え、生活習慣病の重症化予防とフレイルの評価を合わせた「総合的評価」を行い、高齢者の状態に応じたサービス等につながる仕組みを構築	⑤継続事業実施	(従来事業の継続要望) 国保ヘルスアップ支援事業費(国保事業特別会計)にて対応	―	(15,000)	○健康増進課 (地域包括ケア推進班)
17	Ⅰ (1)	県病院協会	調査 研修会 協議会	今後地域で産科や小児科などの集約化が進んだ場合に備え、ICTを活用した医療連携の在り方を検討する	①新規事業の立ち上げ	ICTを活用した医療連携導入の実態、課題等の調査や、導入に関する協議会での検討等の実施を病院協会へ委託	医療機能再編支援事業(病院ICT連携推進検討事業)	6,800	○医療政策課 (医療企画班)

資料　4

令和 4 年 2 月 10 日
静岡徳洲会病院
院長　山之上　弘樹

次年度の当院の病床運用について

令和 4 年度において、当院は下記のとおり病床の運用を変更したいと考えています。

7 西病棟　急性期一般病棟　→　回復期リハビリテーション病棟

現在、7 東病棟において回復期リハビリテーション病棟を 35 床で運用しております。次年度は 7 西病棟 37 床のうち 25 床を稼働させることにより、回復期リハビリテーション病棟は合計 60 床、7 階フロア全体を一体として運用することを計画しています。稼働開始時期は 8 月を予定しています。

以上